

収入印紙
(消印し
てはなら
ない。)

受験番号 ※

通 関 士 試 験 受 験 願 書

令和 年 月 日

税関長 殿

氏名

第 回通関士試験を下記により受験したいので申し込みます。

記

受 験 地											
受 験 科 目 (科 目 免 除)											
(フ リ ガ ナ)											
氏 名											
生 年 月 日	西暦 年 月 日										
国 籍 等											
職 業											
国内住所 (居所)	郵便番号 〒 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 住 所										
連 絡 先	電話番号 () —										
	携帯番号 () —										
	電子メールアドレス										

- 添付書類 1. 受験票
2. 受験免除科目がある場合には、通関士試験科目の一部免除通知書の写し

- 注意事項 1. 受験手数料を納付するため、収入印紙 (3,000 円に相当する額) を貼付すること。
2. ※印の箇所には絶対に記入しないこと。
3. 氏名は合格証書に、国内住所 (居所) は受験票及び合格証書の送付先にそれぞれ使用するため、いずれもはっきりと記載すること。
4. 国籍等欄には、国名等を記入すること (日本国籍の場合は日本と記入)。
5. 初めて試験科目の一部免除を受けようとする場合は、通関士試験科目の一部免除申請書 (税関様式B第 1210 号) 及び証明書 (税関様式B第 1215 号) を受験願書とともに提出すること。
6. 郵送の際は、「書留」、「簡易書留」、「特定記録」等の追跡可能な方法とし、所定の切手を貼った宛先明記の受験票を同封すること。

(規格A4)

※印の箇所には絶対に記入しないこと。

A 片

第 回通関士試験

受 験 票

受 験 地	
受 験 番 号	※
(フリガナ) 氏 名	

試験場 ※

受験心得

1. 答案の作成は鉛筆によること。
2. 受験の際には必ず本票を持参し、受験中は机の上に置いておくこと。
3. 受験中は、下記のもの以外は、すべてかばん等の中にしまい、足元に置くこと。
 - ・受験票
 - ・鉛筆及び消ゴム等の筆記用具
 - ・携帯用電子計算機又はそろばん（通関書類の作成要領その他通関手続の実務の試験時間のみに限る。）

(注) 携帯用電子計算機は、次の各条件に該当する場合のみ使用を認める。

- イ. 計算機能のみを有するもの（例えば、紙に記録する機能、音を発する機能、電子手帳機能を有するもの等は不可）
- ロ. 数値を表示する部分がおおむね水平であるもの
- ハ. 電源内蔵式のもの

4. 自家用車による来場はできません。
5. 試験室内での携帯電話等や通信機能が付いているウェアラブル端末の使用はしないこと。
6. その他、試験場では係員の指示に従うこと。

※印の箇所には絶対に記入しないこと。

B 片

第 回通関士試験

受 験 地	
受 験 番 号	※
(フリガナ) 氏 名	
西暦 年 月 日生	
写真貼付欄 たて 40mm よこ 30mm	

(※税関記入欄)

通 関 業 法	関 税 法 等	通 関 実 務
※	※	※

(規格はがきサイズ (A片))

(A 片の裏面)

郵送の際は所
定の切手を貼
ってください。

郵便はがき

重 要

□ □ □ — □ □ □ □

様

(上記の欄に、あなたの郵便番号、宛先及び氏名を記入して下さい。)

試験の日時と試験科目 令和 年 月 日 (曜日)

試験科目	試験時間
通関業法	
関税法、関税定率法その他関税に関する法律 及び外国為替及び外国貿易法（第 6 章に係る 部分に限る。）	
通関書類の作成要領その他通関手続の実務	

(注) 試験開始 3 0 分前までに試験場に集合すること。

各受付税関の住所